



PDF



## 22 . ギンブナ (コイ科)



魚といえばフナ、フナといえばこの魚を指すぐらいポピュラーなのがこのギンブナである。全国の河川、池、湖などに広くすんでいる。この魚が小川にあらわれると春を実感するようになる。

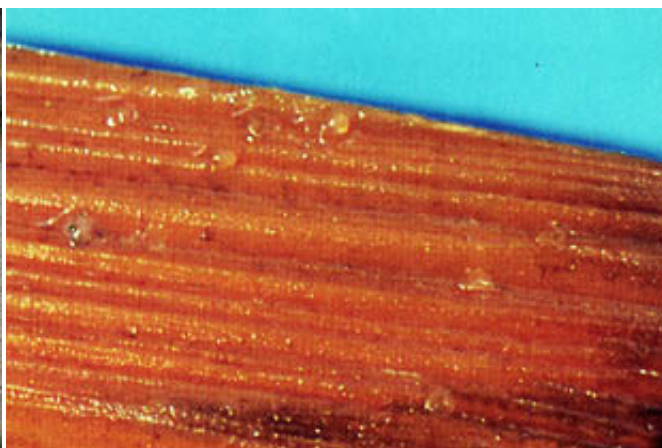
全長15～20cm程度である。産卵期は3～6月であるが、この産卵のし方がかわっている。雄の数が極端に少なく、ほとんど雌ばかりであって、コイ・ドジョウなど他種の精子を刺激剤として、人工処女生殖を起こさせることができるらしい。しかも生れた稚魚はギンブナそのものになる。

天然でも多くの個体は処女生殖をしているらしい。

食用では煮びたし、甘露煮などとされる。



長田区の池



池などの水面に浮いている  
木材に産みつけられた卵。

神戸市内の各地の川や池に普通に生息している。

平野部に多いが、山あいの池にもすんでいる。

釣りの対象にされる。

---

Corassius gibelio langsdorfi ( VALENCIENNES )



---

デジタル化 神戸の自然シリーズ 20 神戸の淡水魚 メニューへ